

教科・科目	公民・公共	単位数	2（前期又は後期）		
		ライン	2	開講期	前期又は後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：現代社会				

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	(1) 現代の諸課題を捉え考察し、その概念と理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想する力を身に付ける。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
使用教科書 副教材等	高等学校 新公共（第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、その概念と理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想する力を身に付けている。	現代の諸課題について多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めようとしている。
評価点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点	前期 50 点/後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	公共的な空間をつくる私たち、公共的な空間における基本的原理、法や規範の意義と役割、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成国際社会の変化と日本の役割、雇用と労働問題、財政の役割と社会保障、国際分業と貿易、国際社会における貧困と格差、地球環境問題、ケーススタディ	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期	公共的な空間をつくる私たち、公共的な空間における基本的原理、法や規範の意義と役割、司法参加の意義、政治参加と公正な世論形成国際社会の変化と日本の役割、雇用と労働問題、財政の役割と社会保障、国際分業と貿易、国際社会における貧困と格差、地球環境問題、ケーススタディ	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	選択した時期（前期又は後期）に、2回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	選択した時期（前期又は後期）に、1回～6回のすべてに合格すること。	
試験	選択した時期（前期又は後期）に、1回合格すること。	

5 学習の記録				添削担当者			先生		登録		
スクーリング 回数		学 習 内 容	レポート					スクーリング実施日			
			回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S	
前期	①	公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における基本的原理	前 1	1 3	2 4		4/20	—	4/22	4/17	
	②	法や規範の意義と役割 司法参加の意義	前 2	1 3	2 4		5/11	—	5/13	5/8	
	③	政治参加と公正な世論形成 国際社会の変化と日本の役割	前 3	1 3	2 4		5/25	—	5/27	5/22	
	④	この回は、実施されません。									
	⑤	雇用と労働問題 財政の役割と社会保障	前 4	1 3	2 4		6/22	—	6/24	6/19	
	⑥	国際分業と貿易 国際社会における貧困と格差	前 5	1 3	2 4		7/6	—	7/8	7/3	
	⑦	地球環境問題 ケーススタディ	前 6	1 3	2 4		7/20	—	7/22	7/17	
	試験	レポート前 1～前 6 の内容		本 試 験	追 再 試		8/17	—	8/19	8/21	
後期	⑧	公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における基本的原理	後 1	1 3	2 4		10/12	—	10/14	10/9	
	⑨	法や規範の意義と役割 司法参加の意義	後 2	1 3	2 4		10/26	—	10/28	10/23	
	⑩	政治参加と公正な世論形成 国際社会の変化と日本の役割	後 3	1 3	2 4		11/9	—	11/11	11/13	
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫	雇用と労働問題 財政の役割と社会保障	後 4	1 3	2 4		12/7	—	12/9	12/4	
	⑬	国際分業と貿易 国際社会における貧困と格差	後 5	1 3	2 4		12/21	—	12/23	12/18	
	⑭	地球環境問題 ケーススタディ	後 6	1 3	2 4		1/11	—	1/13	1/8	
	試験	レポート後 1～後 6 の内容		本 試 験	追 再 試		1/25	—	1/27	1/22	

6 先生からのメッセージ

理解を深めるために、できるだけ毎回のスクーリングに出席しましょう。公共の学習を通じて、自分自身の在り方や生き方、私たちが暮らす社会の在り方、政治・経済の動向、世界の動きなどに関心をもっていきましょう。分からないことがある場合は、教科別質問教室に参加し、解決していくようにしましょう。

教科・科目	公民・倫理	単位数	2（前期）		
		ライン	4	開講期	前期
備考	令和３年度以前の教育課程読み替え科目：倫理				

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	（１）古今東西の知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。 （２）自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、説明、論述できる。 （３）人間としての在り方や生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や思索を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めることができる。
使用教科書 副教材等	高等学校 倫理（第一学習社）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	古今東西の知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、説明、論述している。	人間としての在り方や生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きるようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。
評価点	前期 50 点	前期 50 点	前期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	ギリシアの思想、ユダヤ教とキリスト教、イスラーム、人間の尊厳、科学革命の時代と自然観、自由で平等な社会の実現、人間性の回復と主体性の確立、現代社会をとらえる思想、日本固有の思想、外来思想の受容、町人意識の目覚めと庶民思想、西洋思想との出会い、人間の心と自己形成、現代の諸課題と倫理	・レポート ・試験	・レポート ・試験	・レポート ・試験
	評価点	50 点	50 点	50 点
後期				

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	2 回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	前 1 回～前 6 回のすべてに合格すること。	
試験	前期 1 回に合格すること。	

5 学習の記録				添削担当者			先生		登録		
スクーリング 回数		学 習 内 容	レポート					スクーリング実施日			
			回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S	
前期	①	ギリシアの思想 ユダヤ教とキリスト教 イスラーム	前 1	1		2		4/20	—	4/22	4/17
	3			4							
	②	人間の尊厳 科学革命の時代と自然観	前 2	1		2		5/11	—	5/13	5/8
	3			4							
	③	自由で平等な社会の実現 人間性の回復と主体性の確立 現代社会をとらえる思想	前 3	1		2		5/25	—	5/27	5/22
	3			4							
	④	この回は、実施されません。									
	⑤	日本固有の思想 外来思想の受容	前 4	1		2		6/22	—	6/24	6/19
	3			4							
	⑥	町人意識の目覚めと庶民思想 西洋思想との出会い	前 5	1		2		7/6	—	7/8	7/3
3		4									
⑦	人間の心と自己形成 現代の諸課題と倫理	前 6	1		2		7/20	—	7/22	7/17	
3			4								
試験	レポート前 1 ～前 6 の内容		本試験		追再試		8/17	—	8/19	8/21	
後期	⑧										
	⑨										
	⑩										
	⑪										
	⑫										
	⑬										
	⑭										
	試験										

6 先生からのメッセージ

私たちが生きている社会には多くの課題があります。これらの課題を解決する際に助けになるのが、先哲の思想です。彼らも、私たちが直面しているのと同じような問題に遭遇し、それぞれの時代の中で考えてきました。思想は決して完全な解ではありませんが、人生や社会の導きとなってくれます。よりよい生き方をするために、基本的な知識を身に付けていくために、できるだけ毎回のスクーリングに出席し、分からなければ教科別質問教室で解決しましょう。

教科・科目	公民・政治・経済	単位数	2（後期）		
		ライン	4	開講期	後期
備考	令和3年度以前の教育課程読み替え科目：政治・経済				

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	(1) 社会の在り方にかかわる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念や理論などを活用して現実社会の諸課題を把握し、根拠に基づいて構想し、構想したことの妥当性や効果、実現可能性について考察できる。 (3) 現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たすことができる。
使用教科書 副教材等	政治・経済（東京書籍）

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会の在り方にかかわる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念や理論などを活用して現実社会の諸課題を把握し、根拠に基づいて構想し、構想したことの妥当性や効果、実現可能性について考察している。	現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとしている。
評価点	後期 50 点	後期 50 点	後期 50 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期				
後期	民主政治の基本原則、日本国憲法の基本原則 日本の政治機構、現代政治の特質と課題 国際政治のしくみ、複雑化する国際政治 現代の資本主義経済、現代経済のしくみ 日本経済の発展と現状、国民経済と国際経済 現代日本の諸課題国際社会の諸課題	・ レポート ・ 試験	・ レポート ・ 試験	・ レポート ・ 試験
	評価点	50 点	50 点	50 点

4 単位修得の条件（次の「スクーリング」、「レポート」、「試験」の条件をすべて満たすことが必要。）

スクーリング	2 回以上出席すること。	
	放送視聴について	実施しない。
	教科別質問教室について	スクーリング回数に含めることができない。
レポート	後 1 回～後 6 回のすべてに合格すること。	
試験	後期 1 回に合格すること。	

5 学習の記録			添削担当者				先生		登録		
スクーリング 回数		学 習 内 容	レポート					スクーリング実施日			
			回	提出日・合格			日 S	月 S	火 S	木 S	
前期											
		試験									
後期	⑧	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理	後 1	1 3		2 4		10/12	—	10/14	10/9
	⑨	日本の政治機構 現代政治の特質と課題	後 2	1 3		2 4		10/26	—	10/28	10/23
	⑩	国際政治のしくみ 複雑化する国際政治	後 3	1 3		2 4		11/9	—	11/11	11/13
	⑪	この回は、実施されません。									
	⑫	現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	後 4	1 3		2 4		12/7	—	12/9	12/4
	⑬	日本経済の発展と現状 国民経済と国際経済	後 5	1 3		2 4		12/21	—	12/23	12/18
	⑭	現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	後 6	1 3		2 4		1/11	—	1/13	1/8
		試験	レポート後 1～後 6 の内容		本試験		追再試		1/25	—	1/27

6 先生からのメッセージ

政治や経済に関するさまざまな問題について課題意識を持ち、知識を身につけ、判断力を養うことは、将来、自立した市民になる上で不可欠です。現代社会がはらむ問題点や課題を意識しながら、主体的に学ぶ視点を持つようにしてください。そのために、できるだけ毎回スクーリングに出席し、不明な点があれば、教科別質問教室に参加しましょう。